

☐令和 5 年 7 月 19 日 (水)

☐午後 2 時 00 分から

☐寝屋川市立エスポール集会室

令和 5 年度第 2 回

寝屋川市社会教育委員会議

議案書

寝屋川市教育委員会

案件第 1 号

- ・ 社会教育部事業別概要について
社会教育課
中央図書館

案件第 2 号

- ・ その他

【事業別概要一覧】

社会教育課

	事業名	事業概要	意見・質問等	R 5 予算(円)	R 6 年度 特記事項	備考	回答	再質問等
1	社会教育委員会	市の社会教育における課題等の意見交流や、市民代表としての意見を聴取するために社会教育委員会を開催している。	①過去、現在を含め社会教育委員の意見等はどのような形で教育行政に活かされているのでしょうか。又具体的に反映された事例はあるのでしょうか。	880,000	-	-	①現社会教育推進計画策定時の令和2年度において、社会教育委員会に、計画の内容を議論する専門部会を設け、社会教育委員の皆様の見解を現計画に反映させていただいております。 その他、1例として、アフターコロナにおけるイベントの在り方についてのご意見に対し、「イベントの開催に対する制限の緩和が図られた令和4年度に特別事業として「センチュリー交響楽団の公演」を開催し、これまで中止の続いていた文化芸術振興の活性化を図りました。また、市民が本物の芸術に触れる機会を創出いたしました。	-
2	生涯学習情報誌発行	生涯学習の推進体制を整備するとともに、あらゆる年齢層に応じた様々な学習機会や多様な方法による学習情報の提供により、市民の学習活動の普及促進を図っている。	①普及促進が図れているかどうかの判断基準や推進状況のデータはあるのでしょうか。 ②生涯学習情報誌の有効活用を図ってください。 ③この情報誌と「広報ねやがわ」で市民へ向けての情報提供はかなり充実していると思います。但し、ここ数年コロナ禍の影響で市民の活用ニーズや学習意欲が非常に減少しています。強いて言えば、このような時こそその工夫が望めないでしょうか。	707,000	予算増額 75,000円 紙代の単価 上昇のため	-	①普及促進が図れているかどうかの判断基準や推進状況のデータは、ございませんが、電子データだけではなく、冊子を印刷することで、高齢者の方にもご利用いただけるようにいたしております。情報誌をご覧になった方からの問い合わせもあるなど、一定の成果はあるものと考えております。 ②電子データだけではなく、冊子を印刷することで、高齢者の方にもご利用いただけるようにいたしており、有効活用を図っているものと考えております。 ③より多くに市民に、生涯学習活動にご参加いただけるよう、情報提供の在り方も含め、検討してまいります。	-
3	日本語よみかき促進事業	日常生活において、日本語のよみかきが必要とする市民に対し、習得の機会を提供する。日本語入門テキストや教材を中心に、コーディネーターとスタッフによる指導を行う。週に1回、昼と夜に各2時間の授業で、年間88回開講している。	①北河内蔵書・日本語交流交流会の内容について教えてください。 ②日本語よみかき指導者のスキルアップの向上のための研修の充実が必要だと考えます。登録者が増えればよいと思います。 ③どれくらい外国の方が居られて、どんな成果に繋がっているのか、労働者であるならば、その雇用者、学生ならば学校で支援をする必要があります。それらとの連携はどのようにされているのでしょうか。 ④参加者数及び参加者の満足度はどの位ですか。	2,643,000	予算増額 243,000円 本市で北河内蔵書・日本語交流交流会を開催するため	-	①北河内7市の蔵書・日本語よみかき学校の学習者、指導者、行政担当者が一同に会して情報の交換と交流を図ります。来年度の2月頃、エスガールで行う方向で検討中でございます。 内容としては、セミナー及び各市の日本語教室紹介のあと、分科会に分かれて思いや悩みを出し合い、また、日本文化の体験を通して交流を深めることにより、多文化にふれ、理解し合う機会となるような開催を予定しております。 ②指導者のスキルアップ向上のための研修は、年間3回行っております。また、指導者間の会議も年間6回行っており、スキルアップ向上のため、学習者の情報交換等を行い指導に活かせるよう努めております。 登録者の増加につきましては、広報ねやがわやホームページに掲載するとともに、市内公共施設にチラシを配架しております。 ③令和4年度の受講者は、10か国21人でございます。 成果につきましては、習熟のスピード、達成には個人差がありますが、その方に合わせた指導等を行い、日本語の理解に寄与していると考えております。 また、雇用者や学校との連携につきましては、市内の企業が、外国人雇用者に、本市日本語教室を紹介し、受講されるケースがございます。 ④終講時に、作文を書いていただいております。日本語を話したり書いたり、会話の意味を理解できたなど、喜んでおられる作文がほとんどでございます。	労働している外国人の日本語よみかきについて、企業側が具体的にどのような支援をしているのか知りたい。また企業との連携は図られるのか。 ●企業の法的義務の有無などについて調べていく。
4	まちのせんせい活用事業	自己の得意な技術や知識を活かし、市域における生涯学習活動・学校活動等を支援するために、「まちのせんせい」の人材バンクに随時登録し、人的資源の活用、市民協働参画の推進を目指す。	①予算の具体的な用途について教えてください。 ②2022年は「まちのせんせいフェア」が中止となったようで残念でした。まちのせんせいの活用は進んでいますか。新たなまちのせんせい登録数や派遣数はいかがでしょうか。 ③幅広い人材が、多く登録して気軽に活動に参加できるよりよい体制づくりを期待します。派遣依頼件数の増加を期待します。 ④まちのせんせい活用のコーディネートはどのような状況でしょうか。 ⑤78人もの多くの方が登録されているが、利用率はどれくらいですか。最初の頃やっていた養成講習会はどうなりましたか。またそれはなぜですか。	150,000	-	-	①まちのせんせい活用事業を広く市民の方に知っていただくため、啓発事業としての体験講座の講師謝礼及び講座で必要な事務費でございます。 ②令和4年度の新たなまちのせんせい登録者数は4名です。派遣数は26件でございます。 ③幼稚園や子育て支援センターからの依頼が約半数を占めております。 ④利用率につきましては、令和4年度の登録者数が78人で、派遣数が26件でございますので、33.3%と解しております。 また、養成講座につきましては、現在は形を変えて、体験講座という形で講師を務めることにより、スキルアップを図っております。	-

【事業別概要一覧】

社会教育課

	事業名	事業概要	意見・質問等	R 5 予算(円)	R 5 年度 特記事項	備考	回答	再質問等
5	エスポアール管理事業	平成31年4月から指定管理者「特定非営利活動法人 和」による管理運営の開始（3期目） 施設の効率的・効果的な管理運営を行う。	①指定管理者は入札により決めているのでしょうか。 ②市民の学習の場として新規事業企画などにより施設利用者数が、増加すればよいと思います。 ③施設の改築で活用スペースがかなり減少しましたが、その分駐車場が広くなり遠くの市民からの活用範囲も広がったように思われますがどのような変化が出てきていますか。 ④部屋の利用状況どうですか。子ども達の居場所としての役割は果たせていますか。	61,100,000	-	-	①指定管理者の選定につきましては、寝屋川市指定管理者条例及び寝屋川市指定管理者条例施行規則に基づき、公募し、選定委員会による意見交換の後、市議会の議決を得て決定しております。 ②指定管理者による、自主事業の充実や新規企画などにより施設利用者の増加が図れるよう、指定管理者と意見交換等を行ってまいります。 ③旧館解体等による施設の改築により、利用者の用途に合わせて部屋数を変更するなどして、活用スペースが減少しないように努めております。 施設改築後も、変わらず多くの皆様にご利用いただいております。 ④利用者は、着実に展ってきており、子ども達の居場所としての役割はもちろんのこと、生涯学習の場としての役割につきましても、果たされているものと考えております。	-
6	学び館管理事業	平成28年4月1日 開設 指定管理者「特定非営利活動法人 笑顔」による管理運営の開始（2期目） 世代間交流を推進するための効果的な自主事業を展開し、市民の自主学習・自主活動等に必要の場所を提供する。	①指定管理者は入札により決めているのでしょうか。 ②施設・設備の計画的な老朽化対策が必要ではないでしょうか。 ③地道な活動がなされているようです。 ④部屋の利用率はどの位ですか。子ども達の居場所としての役割は果たせていますか。	29,300,000	-	-	①指定管理者の選定につきましては、寝屋川市指定管理者条例及び寝屋川市指定管理者条例施行規則に基づき、公募し、選定委員会による意見交換の後、市議会の議決を得て決定しております。 ②施設の老朽化対策につきましては、令和3年3月に策定いたしました「寝屋川市公共施設等総合管理計画 個別アクションプラン」において、学び館は「計画的な修繕等を実施し、施設の安全性・快適性の向上を図りながら維持管理を行っていく」との方向性が示されておりますので、その方向性に基づき、適切に対処してまいります。 ③令和4年度の部屋の利用率は、約20%でございます。 子ども達の居場所としての役割はもちろんのこと、生涯学習の場としての役割につきましても、果たされているものと考えております。	望が丘地域交流スペースがオープンする中で、学び館を今後どの程度有効活用していくのが注視したい。
7	その他ご意見	-	①寝屋川市の高齢者の人口比率が上昇傾向にあるため、健康維持増進だけでなく、生きがいのための生涯学習を根付かせる仕掛けを作る必要性はありませんか。図書館事業に力点を置いているようですが、社会教育関連施設・イベントを含めた全体像を考察する必要があると感じました。	-	-	-	生涯学習も含め、社会教育に関する基本理念につきましては、社会教育推進計画において、「人とのつながりを育む 学びのための環境づくり」と定めており、その基本理念に基づき、各施策を推進しております。 図書館事業だけではなく、平成30年6月の大阪府北部地震で廃止した旧中央公民館の再構築を図るため、駅前に、生涯学習施設を設置すべく検討を進めるとともに、スポーツ拠点についても、計画的に整備してまいりたいと考えております。	-

【事業別概要一覧】

中央図書館

	事業名	事業概要	意見・質問等	R 5 予算 (円)	R 5 年度 特記事項	備考	回答	再質問等
1	利用者サービス事業	中央図書館を図書館ネットワークの中核として位置付け、分館、分室、移動図書館とともに圖書の流通を推進する。 また、予約本の受渡しを市内郵便局、各シティ・ステーションで行うことにより、図書館利用者（子育て世代、シルバー世代等）の利便性の向上を図る。	①予約本の受渡しの利用状況又利用者からの意見要望の有無について教えてください。香里園地域にも大きな図書館があればとの意見を聞いています。 ②昨年度の予算では倍増し、さらに今年度も増額しています。その理由を教えてください。 ③業務報告書がとてわかりやすかったです。図書館の存在を知らない小学生がまだたくさんいます。もっとアピールする必要があります。郵便局などでの予約本の受渡し、利用率はどれくらいですか。おきがる号の受け入れ校の増加はどの位ですか。 （特に、図書館が近くにない学校）貸出数をみると、おきがる号と学校の連携がとれていない、もったいない学校があるのはなぜですか。 ④郵便局・シティステーションでの予約本の受渡しについて、利用状況をお教えてください。コロナの取扱い変更等で利用状況に変化が生じているといったことはありますでしょうか。	170,411,000	-	-	①郵便局窓口での予約本の受渡しの利用状況につきましては、令和4年度は2,092人、貸出冊数は4,984冊でございます。令和3年度に比べ、増加しております。郵便局配送事業を利用されている方からのご要望といたしましては、ほとんどございませんが、過去に1回あたりの受取冊数を増やしてほしい、大きな本も配送の対象としてほしいといった要望があったと聞いております。 香里園地域の図書館につきましては、ご要望が多いことは存じておりますが、現状においては、西北分室の利用や郵便局の配送事業、移動図書館などをご利用いただくなかで、図書館サービスを提供させていただいております。 ②主な要因といたしましては、中央図書館に係る光熱費が増額となったためでございます。 ③郵便局窓口での予約本の受渡しの利用状況につきましては、令和4年度は2,092人、貸出冊数は4,984冊でございます。 おきがる号の学校受け入れにつきましては、現在、石津小、木屋小、堀内小で行っております。おきがる号の受入れ校の増加につきましては、学校の希望する時間帯とおきがる号の運行時間帯との調整が課題ではありますが、引き続き、学校とも連携を図りながら、取り組んでまいりたいと考えております。 ④郵便局窓口での予約本の受渡しの利用状況につきましては、令和4年度は2,092人、貸出冊数は4,984冊でございます。本事業は、コロナ禍に実施した事業ではございますが、コロナ取扱い変更後においても、利用状況に大きな変化はございません。	-
2	資料収集・保存事務	利用者の幅広いニーズ及び社会情勢等を踏まえ、資料・情報を収集・保存し、市民に提供する。	①近年収集している資料・情報の内容について概要を教えてください。 ②多様化する市民の読書ニーズに答え、幅広い分野での蔵書の拡大を期待します。 ③具体的な例でもお示しください。（図書購入費とは異なったものですね。） ④ここでの予算に、電子図書館コンテンツの経費は含まれているでしょうか。含まれている場合、紙の資料と電子書籍との費用の配分についてお教えてください。またその配分が令和4年度から変化があるようでしたらその状況をお教えてください。	42,076,000	-	-	①図書館資料につきましては、市の図書収集方針に基づき、幅広い分野からの収集を心がけております。また、市で作成する行政資料に関しても、各課で作成していただいたものを積極的に提供いただくように、定期的に依頼を行っております。 ②資料収集・保存事務につきましては、図書館資料の収集等に係る事業でございます。予算額、42,076千円のうち、約30,000千円は図書購入費、約4,000千円は雑誌、新聞に係る経費、約6,000千円は図書の整理に係る経費となっております。 ③電子図書館のコンテンツ経費は含んでおりません。	紙の資料にも独自のニーズがあるため、予算配分が電子へ傾きすぎないようにしてほしい。 →電子コンテンツの中には利用制限が設けられているものもあるため、取扱いを検討中である。紙資料と電子資料の両立がこれからの課題であると考えている。

【事業別概要一覧】

中央図書館

	事業名	事業概要	意見・質問等	R 5 予算 (円)	R 5 年度 特記事項	備考	回答	再質問等
3	ICT化推進事業	図書館情報システム（蔵書管理、貸出・返却・予約機能、蔵書検索機能等）及び自動貸出機等の情報機器を活用することにより、利用者の利便性の向上を図る。	①確かに現行の図書館情報システムは古いですね。情報システム更新でさらに利便性が向上することを期待しています。 ②平成30年3月1日からのクラウド型図書館情報システムの活用・利便性はどうか。Web予約登録・予約受付、インターネット利用件数の増加に伴い、ICTセキュリティ等の対応（システムトラブル等）ができる専門職員を配置している自治体もあるが、本市の現状はどうか。ICT化事業推進のためには、中央図書館に勤務する市職員のICT研修は大事だと思います。 ③利便性の向上は、市民にとっては有難いし、今後の情報機器の社会利用は進んでいくであろうと考えますが、市民一人換算で見ると250円位必要となっています。（行政システムの開発と一体となった運用も視野に。） ④次期システムで実現を目指しておられることを教えてください。	58,371,000	予算増額 39,974,000 円 図書館情報システム更新のため	-	②クラウド型システムの導入後の変化につきましては、サーバーの頃比べ、安定稼働が図れており、市民の利便性の向上にもつながっているものと考えております。システムトラブル、セキュリティ対応につきましては、システムのSEや市のDX室の専門職員と密に連携を図りながら対応しております。 ③図書館システムの更新に関しては、市のDX室とも連携しながら、取り組んでまいります。 ④次期システムでは、マイナンバーカードの普及を踏まえ、マイナンバーカードでの貸出なども機能の1つとして考えております。	個人情報の取扱いや、トラブル対応が課題である。完全なセキュリティ構築はなかなか難しいと思うが、サーバー攻撃を受けた自治体例もあるため、しっかりとした情報管理を希望する。
4	寝屋川市駅前図書館施設管理事業	駅前図書館及び市民ギャラリーにおいて、事業が円滑に実施できるように、駅前図書館の施設管理を行う。	①入館者数が増加傾向にあるのはとてもよいと思います。子どもから大人まで市民に喜ばれる図書館サービスの提供に努めてください。 ②市民ギャラリーに関しては、使用料が必要とされているのではないのでしょうか。 ③電車を利用する時には便利ですが、駅前のため自転車は停められない・時間制限があるため滞在時間が限られます。又、車利用ができないため困る方もいるのではないのでしょうか。その対策はありますか。	42,417,000	予算増額 5,003,000円 共益費・光熱水費増額のため	-	②市民ギャラリーに関しては、条例に基づく施設使用料が必要な施設でございます。 ③自転車に関しては、中央図書館及び駅前図書館の窓口で、1時間無料券をお渡ししておりますので、通常無料分（60分～90分）+60分で120分～150分が無料となります。また、車に関しては、台数が限られておりますが、中央図書館の地下2階に駐車場を設けております。	-
6	電子図書館事業	図書館に足を運ぶことなく、スマートフォンやタブレット等から電子書籍を利用できる電子図書館サービスを実施し、市民の読書活動の推進を図る。	①電子図書館の利用状況について教えてください。 ②電子図書館コンテンツ数を増やして充実させてください。電子書籍の利用状況はどうか。 ③電子書籍に予算をかけていますが、利用者は増えていきますか。 ④この予算でどの程度（量）の電子書籍を購入可能でしょうか。 ⑤コンテンツ数及び令和4年度からの変化をお教えてください。 ⑥利用図書館数が増えていくことを期待しています。	6,358,000	-	-	①～⑥ 電子図書館に関するご質問一括してご回答させていただきます。 まず、電子書籍のコンテンツ数は、令和4年度末で13,746冊でございます。次に令和4年度の貸出冊数は、雑誌を除いて、10,167冊でございます。貸出冊数につきましては、令和3年度とはほぼ同じ実績でございます。令和4年度の購入冊数につきましては、971冊でございます。電子図書館につきましては、いつでも・どこでも読めることや返却されないこと、また、文字を大きくしたり、音声図書などあることから、障害のお持ちの方でも安心して利用していただけるサービスですので、引き続き、こうしたメリットをしっかりと周知することにより、さらなる利用者の増加につなげてまいりたいと考えております。	-

【事業別概要一覧】

中央図書館

	事業名	事業概要	意見・質問等	R 5 予算 (円)	R 5 年度 特記事項	備考	回答	再質問等
6	読書普及啓発事業	市民の読書活動の向上及び推進を図るため、講座・講演会を定期的に開催する。	①昨年度の予算では倍増し、さらに今年度も増額しています。昨年度開催された講座・講演会への参加者人数など状況を教えてください。	636,000	-	-	予算額は、昨年とはほぼ同額ですが、オーサービジット講演会といたしまして、作家のあさのあつこさんをお招きした、イベントを開催しました。参加者数は、180人でございます。	-
7	障害者・高齢者・多文化サービス事業	視覚障害者向け点字・録音図書を作成を市民団体との協働で行い、作成した点字・録音図書の目録を視覚障害者団体に配布し、利用促進を図る。 高齢者については、老眼等により小さな文字見にくい利用者のために、拡大読書器・大活字本等を提供する。また、在日外国人や外国語文化に親しみたい利用者のために、外国語資料等の充実を図る。	①予算は足りているのでしょうか。 ②外国語資料の充実を期待します。 ③障害者・高齢者・多文化サービスの利用者はどのくらいいるのでしょうか。視覚障害者に特化したことだけでなく、もっと事業拡大が必要ではと思います。144,000円では事業拡大には繋がらないでしょう。 ④利用者にとって利用しやすい状態なのか確認はしていますか。	144,000	-	-	①予算額144,000円の主な用途は、視覚障害者向けの音声タイプのデジタイズの作成や点字図書の作成に係る経費でございます。これらの資料は、毎年、計画的に作成しており、予算は足りております。 ②視覚障害者の登録者数は、約60人でございます。高齢者、多文化サービスの利用者は把握できておりませんが、高齢者向けの文字の大きい拡大図書や英語、韓国語、中国語などで書かれた多文化図書、絵本については、2の資料収集・保存事務の図書購入費の予算で購入しており、計画的に資料収集に努めております。引き続き、障害のある方や高齢の方、日本語を母国語としない方々にとっても、利用しやすい図書館づくりに努めてまいります。 ④利用者にとって利用しやすい状況かどうかの確認につきましては、職員が定期的に館内を巡回するとともに、文字の大きな大活字本は窓口の近くに配置するなど、利用者が利用しやすい環境に努めているところでございますが、引き続き、利用者の声を聞きながら図書館サービスの向上に努めてまいります。	他事業と比較し予算が少なく感じるため、増額を検討してほしい。
8	子ども読書活動推進事業	子どもが本に親しみきっかけをつくり、読書の習慣化に繋がる環境整備を図るため、第3次子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの読書活動を推進する。	①子どもの読書活動の推進状況の把握が必要ではないでしょうか。 ②子どもの読書活動の推進につながっていますか。「としょかんまつり」のような親子で楽しめる関わるサークルの横のつながりになるような、図書館のアピールになる行事の企画はありますか。なければ新しいイベントを期待します。	4,253,000	-	-	①第3次子ども読書活動推進計画につきましては、5年間の計画でございます。進捗状況について、1年ごとに関係課（教育指導課、保育課等）に評価・検証をしていただいております。 ②令和4年度は、小中学校への図書配送事業の実施や、保育所・幼稚園児を対象とした図書館見学等の実施することにより、子ども読書活動の推進を図ったところでございます。 また、親子で楽しめる行事といたしましては、東図書館において、七夕まつり、クイズラリー、駅前図書館において、本の読み聞かせ会などを定期的に開催しております。引き続き、子どもの読書活動の推進につながる取り組みを実施してまいります。	-
9	学校連携配送事業	図書館資料の効果的な活用を進め、市立小中学校に通う児童・生徒の考える力を育む学習環境の更なる充実を図る。 【学校図書館図書配送事業】 学校が希望する中央図書館の本を月1回、各小中学校へ配送する。 【児童・生徒への図書配送サービス事業】 児童・生徒のタブレットから予約された中央図書館の本を週1回、各小中学校へ配送する。	①学校連携配送事業は、学校側にとってメリットがある。児童生徒のタブレットから予約された本の配送状況を年度末にまとめてください。 ②学校連携配送事業が、約半額の提示がされましたが経緯を説明頂ければと思います。単に業者を変更したからの結果なのか、システムの更新もされたのでしょうか。 ③小学校の教室で予約の本が届いてとても喜んでいる子どもの姿を見ました。ステキなサービスなのに、利用者がクラスに1人か2人いるかいないかなので、もったいないです。子ども・先生方・学校にアピールが必要ですね。 ④委託先変更によって経費を抑え、その分を他の事業の充実に振り分けられたものと拝見し、とてもよいと感じました。事業内容は変更せずに、経費を抑えられたという理解でよろしいでしょうか。学校連携配送事業の利用状況をお教えてください。	6,502,000	予算減額 ▲6,376,000円 民間企業からシルバー人材センターへ委託先を変更するため	-	①学校連携配送事業につきましては、引き続き、学校、学校司書とも連携を図りながら、取り組んでまいります。また、タブレットの実績につきましては、年度末にご報告申し上げます。 ②学校連携配送事業の予算減額の理由につきましては、配送業者を当初予定していた民間会社からシルバー人材センターに変更したことによるものでございまして、システムの変更は行っておりません。 ③先日、校長会や学校司書・司書教諭向けの研修会で周知をさせていただきました。また、児童・生徒に対しても、定期的にチラシを配って周知しておりますが、引き続き、より多くの児童生徒に利用していただけるように、学校とも連携を図りながら啓発等に取り組んでまいります。 ④事業内容は、一切、変更してございません。 この事業は、学校司書がSDGs、平和、歴史、環境、食育、仕事、芸術、スポーツなどのテーマで企画展示用のバックを作り、定期的に各校に配送する事業でございます。利用状況といたしましては、市内の小中学校36校すべてに対し、月1回、100冊〜200冊の本を定期的に配送しております。	本の単価が高騰しているため、今後は配送等を活用して本の有効活用を図っていく必要があるのではないかと。

【事業別概要一覧】

中央図書館

	事業名	事業概要	意見・質問等	R 5 予算 (円)	R 5 年度 特記事項	備考	回答	再質問等
10	その他ご意見	-	①「子どもの読書活動の推進に関する法律」 「文字・活字文化振興法」施行以降、本市でも限られた予算の中で読書環境の充実が随分と進んできているのは、とても良いことだと思います。	-	-	-	-	子連れの利用者のために、車の利便性をより高めて欲しい。 ⇒中央図書館では台数制限はあるものの、地下駐車場を設置している。また、周辺駐輪場の無料券配布も行っている。 利用者50万人達成は喜ばしいが、まだまだ利用していない市民は多い。特に小中学生・未就学児へのアピールが必要ではないか。 ⇒今年度は市内小中学校と連携して、図書館見学が行われる。市内の全小中学校が参加を予定している。